

牛込 二、二七五 △堺 利彦
 小石川 四、〇四二 △島中 雄三
 下谷 一、一〇四 福長 正三
 浅草 六九三
 本所 三、八二二 △馬島 備 一、〇七二
 深川 六九六 新妻清一郎 一、一九八
 計 一三、六一三 七名 六、七七四 四四二 泉 留吉 四二五 岩井 勇藏
 以上の外に無産黨と自稱するもの數名あつたがこれ等のエセ無産候補は問題にならず。

各黨の得票總數を示すことが複雑になるから今こゝに市會内の分野を示してその大體の勢力をみることにする。

- 民政黨(市民會) 二九名 三七名
- 政友會(更新會) 一八名 一四名
- 中立(中立クラブ) 一四名 六名
- 革新派(中心會) 六名 六名
- 社會民衆黨 五名 無産議員團 六名
- 日本大衆黨系 一名 無所屬 二名

五月三十日府下各町村に於て行はれた町村議戦に對しても又左の如く立候補せしめ奮闘相當の結果を收めた。尙日本大衆黨は六十九名立候補三十四名當選し、政友派は十名立候補は四名當選した。

支部分名 候補者數 當選者數

- 豐島支部 一四名 一名
- 南葛支部 九名 八名
- 南足立支部 四名 一名
- 第五支部 二〇名 一二名

計 四七名 三二名

以上の外一月西多摩郡東秋留村に於て一名村議を出し、四月間郡福生村一名、増戸村一名、南多摩

郡議選三名、元八王子村一名、合計六名の村議と當選せしめた。

八王子市に於ては昨昭和三年三月の補欠選挙に際して大神田兵太郎君を立候補せしめて當選した其の後一市三多摩支部勢力は大いに擴張され反動の地として有名な三多摩地方に我黨の旗は高く掲げられて来た。本年十一月二日執行の總改選には前記大神田君が再起する外書記長森田喜一郎君を推して戦つたが不幸にして森田君一人だけ當選、大神田君は僅かの差で敗戦してしまつた。左にその得票と市會内の分野を示す

社會民衆黨 當選 二七八票 森田喜一郎
 落選 一三二票 大神田兵太郎
 日本大衆黨 當選 一七〇票 清水 三郎
 市會内分野
 民政派 一六 政友派 一二 無産 二

二、東京區議戦
 三月廿八日執行の東京市内十二區に亘る區議戦に際しては我黨は廿五名の候補者を立て十六名と

當選せしめた。諸町村議選戦の場合も當選代議士の一割の當選を得ることが出来なく、その區議戦に際しても安部委員長は健康上、その他中央幹部及び代議士諸君は種々なる事情の下に黨本部よりの應援が甚だ不充分であつたにもかゝらば、最高幹部總出動をして應援したが各一名しか當選せしめ得なかつたことは御氣の毒であつた。

區別	立候補數	當選者數	得票總數
芝布	三	二	七九一
麻布	二	二	五九二
四谷	一	一	一七九
赤坂	一	一	二二一
小石川	四	三	一、一九三
神田	二	一	三四〇
下谷	二	一	四四〇
本郷	二	二	五三九
京橋	四	二	七五四
日本橋	一	二	一〇九
深川	三	一	五二〇
計	二五	一六	五、六七八